

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	(有)浜本 グループホームふれやか東藻琴館
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	北海道網走郡大空町東藻琴538番地の4
記入者名 (管理者)	坂矢 優美
記入日	平成 19年 11月 1 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当時に作ったものであるが、日々、情緒面が変わる入居者に対し「その人らしさ」を尊重するよう努めている	○	地域密着型サービスとして、入居者、家族や地域のニーズに順応出来るよう、現状に合った理念に作り変えていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関先、事務所、談話室と掲示しており、いつでも確認出来る状態であり、日々、取り組んでいる	○	その都度、又、ミーティングでもケアについて話し合い、意識し実践している
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族の面会時や、来館者の目に付きやすい玄関先、談話室及び事務所に掲示してある	○	当館のパンフレットにも記載しており、面接時、入居時等にも説明している
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内行事や他施設行事へも参加をする事により、交流を図っている	○	演奏会や鑑賞等のボランティア慰問も来館による交流も図られている 又、野菜などの差し入れもよくいただく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事(七夕、盆踊り、文化祭等)への参加など、地域との交流に努めている	○	今後も継続していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	家族や面会者の方から認知症についての相談を受けている	○	今後、運営推進会議の発足により、更に地域に認知症についての理解が深まるよう取り組んでいきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を理解し、職員全員で自己評価に取り組んだケアの向上に役立っている	○	昨年までの自己評価の改善項目も含め評価について、ミーティングやミニカンファレンス等で話し合い、日々のケアに活かしている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	近々、開催予定である	○	入居者、ご家族、役場関係者、地域住民の方の意見を伺い、更に向上したい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員の方には、ケアに関してのアドバイスをいただいている	○	介護保険更新の調査時等にも、相談し、話し合いをしている
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を必要とされる方はいない	○	今後、職員の学習会等で理解を深め、必要とされる方の相談や入居時に備えたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については職員全員が理解している	○	日頃より入居者の状態を把握し職員全員で注意している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に十分な説明を行っている 又、来館時にも、その都度お伺いし、お聞きしている</p>	<p>○</p> <p>入居時と比べ、状態変化のある方には、電話や来館時に報告し、今後の対応についても相談している</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の表情や言動から、その思いを考慮している 訪室し、お話を伺ったり、ご家族よりお話を伺い、その都度職員間でも話し合い、ケアに活かしている</p>	<p>○</p> <p>今後も、不安や不満の兆候が見られた際は、速やかに対応していく</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には必ず近況報告をしている 又、毎月のホーム通信に生活状況の写真も掲載しており、個別に様子もお伝えしている 金銭管理についても、明確に報告している</p>	<p>○</p> <p>健康状態や精神状態によっては、その都度、報告させていただいている</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>いつでも、お聞き出来る体制にある 又、ご家族の心情も配慮し、意見箱の設置もしている 出された意見等については、ミーティング等で話し合い反映させている</p>	<p>○</p> <p>入居時に苦情受付窓口、公的機関窓口の案内をし、重要事項説明書にも記載されている</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングにて職員の意見を聞いている。また、運営者、管理者とも随時聞く体制であり、日常のケア、業務に活かしている</p>	<p>○</p> <p>個別に意見も聞いている</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>交代性のシフトで、全職員が入居者の生活状況を把握している また、要望に応じ柔軟な配置、対応を心がけている</p>	<p>○</p> <p>管理者は、入居者の状態の変化に対し、状況に応じた柔軟な対応が出来るようにしている また、入居者の急変時、家族対応不可能時も職員が対応出来る柔軟な体制を整えている</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職は、その職員の個人的な、また家庭事情によるもので止むを得ない 入居者、家族の不安は最小限となるよう配慮している 新しい職員配置の際も利用者、家族に紹介している</p>	<p>○</p> <p>離職希望時には、話しを聞き、勤務体制で回避出来るかなど、話し合っている</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	近隣の研修会の案内には、参加受講出来るようにしている その際は、報告の機会を設け、全員で共有出来るようにしている	○ 今後も行っていき、質の向上を図りたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所への訪問や、他事業所でのイベントに参加させていただくなど交流を図っている	○ 今後も交流を図り、職員間への幅も広げていきたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に配慮している 職員同士の人間関係を把握するよう努めている	○ 休憩室を確保しており勤務中も体調に応じ休めるようにしている また、休日の希望は、本人の意に沿うようにしている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者も頻繁に現場に来ており、入居者と関わりを持ったり、職員の業務についても把握している また、言葉かけにより、向上心を持って職務に就けるように努めている	○ 職員の資格取得に向けた支援も行っている
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	関係担当者から事前に話しを伺い把握したうえで本人面接を行い、本人の意向を確認している	○ 入居後の生活がスムーズに支援出来るよう職員間でも話し合っている また、入居前に見学に来ていただき、入居者とお茶の時間を過ごして安心していただけるようにもしている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の求めていることを理解、把握し家族が安心できるサービスを提供出来るよう努めている	○ 入居前に見学に来ていただき、ホーム内の雰囲気を確認していただいている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い、状況を確認し必要としている支援の提案をし実行している	○	今後も、本人や家族の置かれている状況を考慮し、要望に応じていきたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り入居前には、本人または家族に見学に来ていただき、場の雰囲気を感じていただき、また、当館からも面会に伺い、なじみの関係を築き、安心していただけるようにしている	○	止むを得ず、他サービスや退院と同時に入居となった方には、ご家族の協力の下、安心感を持っていただけるようにしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩であるという気持ちを忘れずに接しており、入居者から教わる場面も多い	○	入居者から教わる場面を大切にし、常に感謝の気持ちを伝えている 自信に繋がるように支援している
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者の様子、職員の関わりを伝える事で、本人を支援する協力関係を築いている	○	ご家族にも入居者との関わりを保つよう協力いただいている (外出、外泊、受診対応など)
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者と家族の思いが結びつくような働きかけを行っている 誕生会や行事には、家族をお招きしている	○	状況などにより、外泊をお勧めしたり、また、行事等の家族参加を行い、良い関係の継続に努めている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族や知人、友人などの来館を快くお迎えし、居室でゆっくり過ごしていただくなど配慮している	○	電話や手紙の通信の支援も行っている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係が上手くいくように、職員が調整役となり支援している	○	重度認知症の入居者の行動を他入居者が理解し、職員に知らせてくれる また、清掃、炊事など分担、協力して行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された方の様子など、ご家族にお会いした時にお聞きしている また、入院から退居に至った場合は見舞いや面会にも伺っている	○	今後も、退居となっても、相談に乗るなど本人や家族との関わりを大切にしていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の希望、要望に基づいた支援計画を作成しており、ミーティングにより職員が入居者に合ったケアを考えている また、本人にとって、何処で、どのように暮らすことが最良なのか、スタッフや家族とも話し合っている	○	ケアプランを職員全員が把握し意見を出し合い、話し合っ て取り組んでいる
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の生き立ち、生活、病歴など、本人や家族、関係機 関より情報を得、把握に努めている プライバシーに配慮したうえでアセスメントをしている	○	家族、知人などの面会時の会話の中からも少しずつ把握 している また、近況報告も行っている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人の身体機能、生活リズムの把握は、生活記録等に詳細 に記録している また、申し送り書の利用、口頭での入居者の状態確認もして いる	○	日々の生活の中で何が出来るか?、何をしている時が快 適なのか?という視点で接している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の会話により本人の思いを汲み取る努力をしている 面会時、家族との会話も大切にしている ミーティングの他、職員と個別に話しをする時間をもち介護 計画を作成している	○	本人の希望、家族の現状も考慮し作成している
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しは行っている また、必要時(入院、病気、変化等)見直しが出来るよう、職 員、家族と話し合いを持つようになっている	○	ミーティングにおいても、入居者の様子、状況、状態につ いて話し合い、評価、見直しを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意し、日々の生活の様子は本人の言葉、エピソード等を記録し、誰が見ても入居者の生活状況が分かるような記録に努めている 個別の記録、スタッフの意見を基に介護計画に活かしている	○	職員の気付きや、入居者の状態の変化は、個人記録に詳細に記録し、情報に共有を徹底している また、勤務開始前の、記録等の確認も義務付けている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じ、通院等の必要な支援は柔軟に対応している	○	行事等、特別な外出の支援、また、外泊の要望時等も柔軟に対応している
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者が安心して生活出来るよう、警察、消防、ボランティアの方に協力、支援していただいている	○	今後も入居者が安全で楽しく生活出来るよう、地域の協力を得られるように働きかけていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の希望や状況に応じて、地域ボランティアの支援をお願いしている	○	本人の状態により、訪問理容も利用いただいている
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例については、地域包括支援センター職員にも相談、アドバイスをいただいている	○	運営推進会議の発足により更に関係を強化したい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医療機関の提携の他、入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、家族と協力し通院介助を行っている	○	歯科に関しては、往診治療もしていただいている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	それぞれの主治医は精神科医、脳外科医も多く、入居者の状態等いつでも相談出来る	○	今後も医療機関との信頼関係を築きながら、治療方針、認知症についての指示や助言をいただき、個々に対応していきたい
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者は看護職員である また、職員の中にも2名の看護職が勤務しており、いつでも対応出来る	○	管理者は24時間体制である
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に至る経過を把握しており、入院中も面会や病院担当職員、家族と情報交換や相談に努めている	○	家族や担当職員と話し合い、退院後の生活をスムーズに送れるよう努めている また、事業所職員間でも、退院後のケアについて本人の混乱のないよう備えている
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態の変化に応じ、本人や家族と話し合い、医師の治療方針の下、安心、納得を得られるよう配慮している	○	本人や家族の気持ちに沿うようケアしている また、緊急時に備え、マニュアルを作成し共有、話し合っている
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在、終末期の入居者は居ないが、本人、家族の気持ちを大切に、安心して過ごしていただけるよう取り組んでいる 急変した場合は、すぐ対応していただけるよう、医療機関とも連携を図っている	○	職員間で病状を把握し、変化を見逃さないように連携体制作りをしている
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの生活環境、支援の内容、注意点などについて情報提供をしている	○	本人や家族の意見と合わせ、介護添書での連絡もしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	個人情報には、細心の注意を払っている 記録物も目に触れぬ場所に保管している
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	複数の選択肢を提案するなど、入居者の希望の把握に努めている
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	寝坊される方、夜更かしされる方もおり、その都度、柔軟に対応している
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	希望時には、職員が送迎、または、家族と共に外出、外泊時に行っている
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	食材の皮むき、切るなど、入居者と共に行い、また、食器拭き、片付けも分担して行っている
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	おやつは手作りのもの、市販のもので提供している 飲み物も数種類の中から選んでいただき提供している 病状により、過度の間食を控えなければいけない方についても配慮している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を使用し、ある程度の時間が来たらトイレへお誘いするようにしている また、一人ひとりのサインを把握している	○	お誘いしても拒否される事があるが、その際は少し時間を置くか、他の職員と交代し誘導する等柔軟に対応している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴剤の使用や、入居者に合わせ温度調節等している 入浴時間も本人の希望を伺いながら入浴いただいている	○	入浴を拒否される方には、職員の交代やタイミング、誘導法等その都度、状況に合わせて支援、対応している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	傾眠中の方が安眠出来るよう、テレビのボリュームは小さくする等配慮している 一人ひとりの要望を伺い支援させていただいている	○	日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている また、寝付けない時は、添い寝をしたり、温かい飲み物をお出しする等配慮している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器拭きやテーブル拭き、掃除のお手伝いや洗濯物たたみ等、一人ひとり出来る事を見つけ、気晴らしや楽しみ事を支援している	○	男性入居者の方も調理や裁縫が出来、女性入居者と一緒に作業もしている
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全入居者の金銭はホームでお預かりしている 外出時、外食時には、出来る方には、支払えるよう援助している	○	金銭管理の出来ない方には、職員で対応している
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の希望に合わせて、外出やドライブ等に出かけている	○	散歩に行けない時等も、ベランダからバルコニーや芝生に出る等、外気や日光に当たるよう心掛けている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節毎の催し物や、行楽地等、行事として職員で取り組み、出かけている	○	ご家族へも、通信や来館時等でお知らせし、参加を呼びかけている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、いつでも使用可能であり、要望により介助している 便箋、封筒、切手は用意している	○	ポストへの投函など、支援している 電話は、本人の要望によって取り次いでいる
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来客者には、面会簿に記入していただいております、職員も、名前、住所、間柄等を覚え、笑顔で対応するよう、心掛けている	○	面会は自由に、特に時間は設けず、来客者には和やかに入居者と過ごしていただけるよう配慮している
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○	医師等の指示にて処方された薬の目的や副作用について職員の周知を図るようにしている
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠せず、自由に出入りしていただいている 居室も、鍵をかけないように取り組んでいる	○	徘徊のある入居者には、その都度声かけし、納得していただけるように努めている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は巡回し、様子を伺っている 日中も、見守りしており、安全に配慮している	○	転倒の危険性のある方にはセンサー付きマットを使用いただき、行動を把握出来るようにしている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	特に問題の無い入居者には、爪切り、髭剃り等、所持していただいている	○	包丁やキッチンバサミ等の調理器具、裁縫道具の危険と思われる物については、職員が保管し管理している 調理の際には、付き添い、一緒に行っている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の危険のある方に関わらず、入居者には常に見守り体制で、必要に応じ、介助している 内服薬についても、名前、日付、内服時間の色分け等、厳重にホームで管理している	○	センサーマットの使用による行動を把握し、転倒防止に努めている また、ヒヤリハットも活用し、事故を未然に防ごう、職員間で常に話し合いしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変、事故発生時のマニュアル、連絡網を作成している また、初期対応の訓練を受けている	○	今後も講習会等に、機会ある毎に参加していきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ミーティング時に職員全員で話し合っている	○	地域の協力を得られるよう、町内会等の交流を図れるよう検討していきたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居者の訴え等を良く聞き、家族、施設間で蜜に連絡を取るよう努めている	○	入居者に危険が生じないよう見守り、状況把握に努め、家族に説明し理解を得ている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック時の体調の伺い等にて、変化、異変を把握し早目対応している	○	状況に応じ、協力医療機関に協力していただき、指示、受診している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の処方箋を職員全員が確認、また、服薬時は複数人で確認し合い行っている	○	起床時間の変化に応じ、服薬時間の変更、投薬忘れのないようにその都度、申し送り簿に記録している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表、水分摂取表を作成し長期無排便状態の無いよう確認している	○	腹部マッサージ、軽い運動等の働きかけ、また、必要に応じ、便秘薬、浣腸等にて対応している
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔含嗽、義歯洗浄を行っている	○	入居者の訴え時、状況に応じ、歯科医師の往診を受けている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表、水分摂取表の記入を実施している 飲み込みの困難な方には、刻み食やミキサー食にする等の配慮もしている 午前、午後、入浴後には水分補給をさせていただいている	○ 食事に対して抵抗の有る方には、補助食品の処方もさせていただいている また、代用となる物の提供も他入居者に分からぬように支援している
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており、職員に周知している 排泄後、食前、外出後の手洗い、含嗽を実施している 洗面所には、石鹸、ペーパータオル、手指消毒剤を用意している インフルエンザワクチンは入居者、職員も接種している	○ 職員は、出勤時にも、手洗い、含嗽を行ってから業務に就く事を徹底している 外出時は、イソジンで含嗽をしている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	週に2～3回の買出しを行い、冷蔵庫、冷凍庫にて保存している 調理器具は、使用後の洗浄、消毒を行っている	○ 新鮮な食材の使用に努めている また、使用後は、清潔を保つよう全職員で心がけている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りや敷地内には、プランターや花壇、ハウスも設置しており、明るい環境作りに心がけている	○ 玄関には、スロープを設置、ロードヒーティングも完備しているので冬場は入居者だけでなく、来客の方にも安心安全である
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓が付いているので、リビングや廊下には、明るい光が差し込んでいる また、季節に応じて、玄関やリビングに生花を飾ったり、壁にも季節の飾りや、イベントや行事の写真等を掲示して楽しんでいる	○ 常に入居者に声かけをし接している 私語は不快にならぬよう慎み、笑顔を絶やさないように努めている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室にソファ、テレビが有り、自由に過ごせる空間がある また、和室もあり休むことも出来る	○ トイレ横にも畳仕様のベンチを置き、館内歩行運動時の休憩に使用していただいたり、他入居者との会話の場所にもなっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族の希望に基づき、在宅時に使用していた物や好みの物を持参していただいている	○	テレビや仏壇を持参される方も居り、自分の余暇や安心して暮らしていただけるよう支援している
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気の良い日は窓を開け換気に努め、においなどには消臭剤などで対応している 空調は常時作動しており、冷暖房や除湿も状況に応じ使用している 冬の乾燥時期は加湿器も使用し湿度管理も行っている	○	居室にも状況に応じ、加湿器を使用している サーモ付きの暖房機を設置しているので、室温は一定に保たれる
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室等、要所に手すりを設置している 廊下には、休憩用のベンチを置いている	○	入居者の必要性に応じて、ベッドや衣服に鈴を付け、ナースコールの代用や行動の把握をしている また、センサーマットを設置し、転倒防止に努めている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各入居者の居室に写真付きのプレートを飾り、玄関には、職員の写真、名前を取り付けている	○	回路型のホームのため、館内で迷っても元の場所に戻れるが、そのような状態を見かけた時は、声かけし混乱しないように努めている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外の物干し場で一緒に洗濯物を干したり、畑を耕したり、野菜と一緒に育て、収穫を楽しんでいる	○	ベランダにはベンチやパラソル、テーブルを置いて、お茶を飲んで会話を楽しんだり、日光浴もしている

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

敷地内にビニールハウスを設置し、植え付けから収穫までを入居者と職員で行っている